

# 岡倉天心

## Tenshin Okakura

1863-1913 日本

思想家。近代日本における美学研究の開拓者で、『茶の本』(1906)など英文著作による欧米への日本美術・文化の啓蒙活動を行った。日本美術院や東京美術学校(現・東京藝術大学)の設立にも貢献し、そこで横山大観ら多くの作家を育てた。

1863-1913 Japan

Philosopher. He is the pioneer of aesthetic studies in Modern Japan, and took part in promotional activities for Japanese art and culture to Western countries through english texts such as his book Teatism (1906). He had contributed in the founding of The Nihon Bijyutsuin and the Tokyo Bijutsu Gakko (present Tokyo School of Fine Arts), where he nurtured many artists such as Taikan Yokoyama.

### 岡倉天心

映像

「五浦六角堂からの眺め」

2005年



### Tenshin Okakura

Video "View from Rokkakudo, Izura"

2005

<岡倉天心展 日本文化と世界戦略 2005年2月5日～6月26日より> この展覧会では、建築家、磯崎新と六角鬼丈の企画、設計による六角堂が2階会場につくられ、現地、茨城県五浦海岸の六角堂にて撮影した映像が上映された。観客は建物の鑑賞とあわせ、天心が五浦の六角堂から眺めた風景を体験した。本展では、その映像を再編集し展示。

六角堂とは、茨城県五浦の海に突き出た岩の上に、1905年、岡倉天心自身の設計で建てられた小さな東屋のこと。当時、天心はボストン美術館の中国・日本美術部の仕事のため1年の半分はボストンに住み、残りをこの五浦の地で

自然の中で暮らした。この六角堂は、2011年の東日本大震災で流失したが、復興計画のもと、2012年創建当時の姿に再建された。